

令和7年度 コンプライアンス研修年間計画

土浦市立大岩田小学校

目標『自分事としてとらえ、考え、実践するコンプライアンス』
～コンプライアンス違反者0を目指して～

学校コンプライアンス推進委員会

○メンバー 教頭、教務、生徒指導主事、教職員代表（佐藤由佳里、小林文）

※ 構成メンバーは、それぞれの立場を生かし、取り組めるようにした。特に、役職や校務分掌、男女割合、経験年数等（ベテランや若手教員）、それぞれの持ち味を生かせるように配慮した。

○助言者

〔学校長、学校運営協議会メンバー、学識経験者等〕

幅広い視点で「コンプライアンス意識」の向上を図るため、教員だけの世界にとらわれることなく、本校地区の豊富な外部人材を活動できるように工夫していく。

実施		内容	主体	研修内容
4月	2日	推進委員会①	推進委員	組織づくり、年間計画立案
5月	7日	講話	学校長	教育公務員としての自覚
	8日	研修①	教頭	教職員の服務規律
	19日	研修②	山口哲	体罰の防止
	26日	研修③	大槻	不適切な指導
6月	9日	研修④	前原	懲戒処分事例
	23日	研修⑤	新宮	パワーハラスメント
	30日	研修⑥	中村	個人情報の取り扱い
7月	7日	研修⑦	富島	著作権の侵害
	14日	研修⑧	市村	保護者との関わり
	24日	研修⑨	佐藤	校内ヒヤリハット事例
8月	4日	研修⑩	酒井	セクシャルハラスメント
	6日	講話	外部：氏	外部人材による講話（現在、人選中）
	21日	研修⑪	坂本	盗撮防止
	21日	研修⑫	生木谷	SNSの利用
9月	8日	研修⑬	原	飲酒運転（自転車）
	22日	研修⑭	笠倉	交通違反・事故
	29日	研修⑮	山口由	飲酒運転（車）
10月	6日	研修⑯	小林	人権尊重
	10日	研修⑰	上瀬	わいせつ行為
	29日	研修⑱	養教	外部者への接遇
11月	4日	研修⑲	教頭	リスクマネジメント
	10日	研修⑳	川島	配慮を要する児童との関わり
12月	15日	研修㉑	主査	公金等の処理
1月	19日	研修㉒	教頭	教育法規
2月	16日	研修㉓	チェックシート活用	1年間の振り返り
3月	9日	講話・研修㉔	学校長	よりよい学校づくり・1年のまとめ

本校の年間計画を上記に示したが、その時にニュースや話題となった出来事や国や県、市における通知等をもとに、推進委員会の協議の結果、研修回数やその内容を変更することがある。

〔備考〕

①研修の進め方

○「事例検討」を積極的に取り入れる。

- ・個人の考察や仲間との協議の時間を十分に確保する。そして、課題に対してより深く考えられるようにする。
- ・活動グループの編制を工夫する。そして、様々な立場の職員の考えにふれ、広い視野で物事をとらえられるようにする。
- ・仲間同士で、積極的に自分の考えを述べ合うことで、何でも言い合える風通しのよい職場環境を築いていく。

②主な進め方

- | | |
|----------------------------|-------|
| ・課題の提示 | (5分) |
| ・考察(個人・グループ→全体) | (10分) |
| ※事例検討(実際の出来事、新聞の活用等)を取り入れる | |
| ・まとめ(助言・自己評価) | (5分) |

③研修の工夫

○チェックシート

「信頼される教職員・学校を目指すセルフチェックシート」を活用する。

○コンプライアンスブックの活用

(「信頼される学校であるために」茨城県教育委員会)や「One IBARAKI」を効果的に活用する。

○自己申告書における自分が気をつけるべき目標の設定や対策等を管理職と共に協議し、決定する。

- ・管理職からの助言や指導を生かす。
- ・管理職からの日々の声かけにより、コンプライアンス違反者0を目指す。